

JA大北発 アルプスの里 ふれあい情報誌

だいほく

September 2017 No.630 **9**

Monthly PickUp

[だいほくホットライン]

今年も始まるりんごオーナー

自分の木と笑顔で対面

新鮮なトウモロコシのもぎ取り体験

池田町内鎌もろこし村の収穫祭

平和への思い込めた千羽鶴2050羽を広島へ献呈

JA大北ときわ支所



だいほく通信北から南から | 女性部通信 | 営農アドバイス | ACB通信 | JA直売所だより | JAインフォメーション | あづみ病院「くらしの健康百科」
 国営アルプスあづみの公園 | アルプスサロン | JAまごころ宅配「暮らしの応援レシピ」



地域に愛される笑顔の輪

JA大北



今年も始まるりんごオーナー

自分の木と笑顔で対面

当JAは8月5日、平成29年度りんごの木オーナー開園式を当JA本所会館で開き、全国各地から約230人のオーナーと家族らが参加しました。

このオーナー制度は、大町市内のりんご農家を中心となり昭和58年から行われており、再契約者も8割以上と多く、今年は関西・中京・関東方面から338本の申し込みがありました。

開園式でりんごオーナー部会の小澤治人部会長は「北アルプスから流れ出る水、冷涼な気候で育った甘みが詰まったりんごを収穫し喜びを分かち合ってもらいたい」とあいさつ。同JAの山田高司組合長は「大町地域は長野県でも有数のりんごの産地。りんごの木を中心にくらしの輪を広げ、まわりにも伝えてほしい」と呼びかけました。

来賓の牛越徹大町市長は「大町市は冷たくて綺麗な水に朝夕は涼しい気候と自然、空気に恵まれた地域で、りんごの生育にもいい影響を与えている。ゆつくりしていただく」と歓迎しました。

式では信濃国松川響岳太鼓による太鼓演奏を楽しんだ後、契約している各園主のりんご園を訪れ、自分の木を決め、札をかけました。野菜の振る舞いなどのもてなしもつけ、交流を深めました。

同市常盤の太田聖吾園主のりんご園で、2年前からオーナーとなった仁科克巳さん(48)と友佑くん(9)の親子は東京都立川市から来訪。「昨年収穫したりんごを食べた時、とても甘くておいしかった。今年も収穫が楽しみ」と自分の木の前で話していました。東京都から訪れた古山美由喜さんは2年目オーナー。「旅行も兼ねて訪れた。昨年初めて収穫して食べたなら、とてもおいしいりんごだった。収穫も楽しみにしている。友達や近所の人にも紹介してあげたい」と笑顔で話しました。

オーナーによる収穫は11月上旬から中旬頃を予定しています。





新鮮なトウモロコシのもぎ取り体験

池田町内鎌もちろし村の収穫祭

池田町会染内鎌地区の農家有志で

つくる内鎌十日会は7月31日、トウモ

ロコシのもぎ取り体験ができる「内鎌

とうもろこし村収穫祭」を県安曇養

護学校近くのほ場で開きました。県内

外から約400人が訪れ、もぎ取り

を体験しました。

開村式で同会の田中二夫会長は「今

年は発芽が良く、例年並みの甘くてい

いトウモロコシになった。多くの人に収

穫を体験してほしい」と話し、当JAの

山田高司組合長は「これからも地元特

産物を通じた地域コ

ミュニティを大切にし

ていってほしい」と会

員に呼びかけまし

た。

横浜市の田口貴規

さん(49)の一家4人

は4回目の参加。

「都会ではなかなか

トウモロコシの収穫

体験はできない。子

どもたちにもいい刺

激をもらっている。自

分の田舎ができた感

じがする」と話しま

した。また来場者に

は同地区の特産品

「内鎌かんぴょう」が

入った味噌汁の振る

舞いや、会員が作った

野菜などの販売も

行いました。

平和への思い込めた千羽鶴2050羽を 広島へ献呈

JA大北ときわ支所



JAの降旗理事に手渡しました。

受託式で児童らは「よろしくお願

します」と託し、受け取った降旗理事

は「たくさん鶴を折ってくれてありが

とう。みんなの思いは広島に、そして世

界に伝わると思う。世界中に勉強を受

けたくても受けられない人がたくさ

んいる。感謝の気持ちを忘れずに夢に向

かつて頑張つてほしい」と話しました。

千羽鶴づくりは14年目。今年は当

JA14支所の金融窓口と、同児童クラ

ブを含む大田市ふれあいプラザ利用者

などが折り、約2050羽が集まり

ました。千羽鶴は広島市の(公財)広

島平和文化センターを通じて8月6

日に同公園で行われた平和記念式典

にあわせ献呈されました。

同センターから次の通りお礼が届い

ています。



大北農業協同組合 御中

時下ますますご清栄のこととお喜び
申し上げます。
さて、この度は折り鶴をお送りいた
だき、厚くお礼申し上げます。

この折り鶴は、先日、職員の手によ
って中学生の時に原爆症で亡くなった
佐々木禎子さんの霊を慰め、平和を祈
るために建てられた「原爆の子の像」
へ捧げさせていただきます。

この折り鶴に込められた思いは、そ
の碑を訪れる多くの人々に伝わって行
くことと思います。

私共も、禎子さんの悲劇が二度と繰
り返されないよう、
核兵器のない平和な世界が実現され
ることを皆様とともに願っております。

公益財団法人広島平和文化センター
理事長 小溝 泰義

白馬ブランドのミニトマト出荷始まる

JA大北白馬地区園芸部会



しているもので、同部会は平成元年に設立。夏場はミニトマトなどの園芸品目を作付けしています。

同部会長の横山嘉政さんは2棟のハウスに1,200本のミニトマトを栽培。「育苗ハウスは春に多くの水を使うため土壌内に浸透し、洗浄する効果がある。水稲育苗のおかげで連作障害は毎年最小限に抑えられている」とハウスを利用する効果を話します。昨年から高温化でも安定して甘みと酸味のバランスがいい品種「キャロルスター」を試験的に栽培。施肥技術等を確立し今年から本格的に栽培を始めました。横山さんは「ブランド力を高めるためには情報や技術提供は部会組織として必要なこと。ここで生産している皆が集結してこそ白馬ブランドだ」と力強く話しています。栽培されたミニトマトは当JAを通じ10月まで中京方面の市場に出荷されます。

白馬村の当JA北部育苗センターで8月中旬から水稲育苗ハウスを活用した白馬ブランドのミニトマト出荷が始まりました。当JA白馬地区園芸部会のうち、同ハウスを利用する生産者15人がミニトマトを栽培しているもので、夏場の栽培期間が限られる

豪雪地にとって、高品質なミニトマトは、地域の主力品目となっています。

同育苗センターは白馬村や小谷村などの農家に水稲苗を供給する基幹的施設で、現在27棟120アールが並びます。水稲育苗後も有効活用するため、当JAが農家にハウスを貸し出

小谷村の特産「雪中キャベツ」村内各所で苗の定植

小谷村の各所で同村の冬季間に収穫する特産品「雪中キャベツ」の苗の定植作業が8月初旬から中旬まで行われました。今年は同村伊折地区や中土地区、北小谷地区など村内の個人や生産組合8件が栽培に取り組み、商品ブランドの価値を高めようと昨年11月には生産者や小谷村、当JAなどの販売組織が「信州おたり雪中キャベツ生産組合」を設立しています。

このうち伊折農業生産組合は8月11日に定植。組合員のほか、同地区を拠点に学習活動を行っている東京農業大学の教授や学生など21人が作業に参加。今年は20アールの圃場に昨年より2,000本多い5,000本を定植しました。坂井昭十組合長は「多

くの方々に協力していただき定植できた。大変助かる」と話しました。同組合では県内スーパーや村内での販売のほか、首都圏での販売も視野に入れています。

北小谷地区の李平耕作組合は8月18日、地区内の約13アールの圃場に当JA中部育苗センターで育てた苗約2,000本を定植しました。組合の見田勇治さんは「連作障害回避のため毎年圃場を移している。雪中キャベツ生産組合や市場の要望により、程よい大きさでいい品質の球ができるよ



う管理していきたい」と話しました。

小谷村内では、約50アールの圃場に15,000本余りを定植。収穫は降雪のある来年1月から2月末までを見込んでいます。

JAと担い手農家・認定農業者が意見交換 自己改革取り組み状況確認

当JAは8月17日、管内の担い手農家、認定農業者と当JA役職員との意見交換会を当JA本所会館で開きました。各市町村の認定農業者や農業法人経営者など30人が参加し、当JA役職員と管内農業、JA事業について意見を交しました。当JAの山田高司組合長は「水稻が主体の地域で園芸振興を進めているが課題は多い。皆さんの意見・要望をしっかりと事業に反映したい」とあいさつ。

会では農林水産省の農協改革に関するアンケート調査結果や当JAの自

己改革の取り組み状況を説明後、農家からJAに対して「農産物の販売力向上や農機具・肥料などの購入価格の見直しに努めてほしい」という声や「農家数が少なく、農家の高齢化が進んでいる中山間地域ではJAの協力が必要。農家とJAが話し合える機会をもっと増やしてほしい」といった支援を求める声が上がりました。意見交換会はJA自己改革の一環として昨年12月に続き2回目。農産物販売の取り組み



方や農業所得の向上が課題となる中で、各地区の農家から直接声を聞き、JA事業に反映していく考えです。

「サンつがる」出荷開始・目揃え会開く／JA大北りんご生産部会

新選果機も本格稼働



当JAと当JAりんご生産部会は8月24日、りんご早生種「サンつがる」の目揃え会を大町市平の同JAりん

ご選果場で開きました。大町市、松川村などから生産者約40人が集まり、当JA営農指導員から今年の市場情勢、選果場の選果機センサーによる着色度、熟度について数値と見本を元に出荷基準の目安を聞きました。JA中部営農センターでは「今年のはつがるは生育はほぼ順調。天候不順により着色が遅れているが、有利販売するため適期収穫・出荷をお願いしたい」と生産者に呼びかけました。同選果場では8月26日から今季のりんご選果が始まり、つがるは9月中旬ま

で出荷される予定で、中京・北陸方面の市場に出荷されます。

《選果場の選果機を更新》

また、同選果場では最新の光センサーを搭載した選果機を導入し、8月から稼働が始まっています。新選果機は、形状、糖度、熟度などの値がより高精度に計れるもので、センサー横のモニターで選果状況も瞬時に確認できます。選果場では「これまで以上に美味しいりんごを消費者に提供できる」と話しています。



保育園児がジャガイモ収穫で笑顔 松川村・小谷村の保育園

管内各地で子どもを中心としたジャガイモの収穫体験が開かれました。このうち松川村の松川南保育園の年中・年長園児69人は7月26日、同村北保育園の年中・年長園児110人は8月3日に、同村農業委員会、同村営農支援センターなどが食農教育の一環として開設している「安曇野まつかわ農業小学校」の体験農場で、ジャガイモの収穫体験を行いました。園児たちは「大きいのが採れた」など

と声を上げて土の中から掘り出しました。収穫したジャガイモは、園のクッキング保育の食材として使われました。

また、小谷村の小谷保育園年長園児20人は8月4日、同村伊折農業生産組合の共同畑でジャガイモ掘りを行いました。地域住民との交流を深めている同



園の恒例行事で、園児たちは暑い陽気の中でも元気に「たくさん採れた」と喜び、地区の農家と交流していました。



直売所ええっこの里会員集会開く 生産者と意見交換

当JAは8月9日、農産物直売所「ええっこの里」の会員集会を当JA本所会館で開きました。当JAの窪田義雄常務は「会員や来客者からの要望には対応できるところから取り組んでいるがまだ至らぬ点が多い。この集会を通して意見を頂き、お客さんや会員の皆さんが利用しやすいようにしていきたい」とあいさつしました。集会には会員24人が参加。直売所と営農部職員から、今年3月から7月末までの売り上げ実績や今後の取り組みに

ついて説明を受けた後、意見交換を行いました。会員からは出荷方法や陳列の仕方、価格表示などに関して意見、要望などが出されました。また栽培講習会も開き、タキイ種苗株式会社と株式会社ナカツタヤの社員を講師に直



売所出荷に向けた秋野菜の栽培のポイントについて学びました。

籾摺調整技術者講習会を各地で開催

良質米生産に向けて注意点・規格を確認



平成29年産米の収穫時期を迎え、当JA、県農業改良普及センターなどが主催する、籾摺調整技術者の講習会が8月21日から24日まで管内7会場で開かれました。8月22日、当JA本所会館で開かれた講習会には大町市内の水稲生産者約30人が集

まり、長野米の販売情勢、平成29年産米の自主統一規格や適期収穫と乾燥調整技術などを研修しました。当JA営農技術員・南部工機燃料センター、北安曇農業改良普及センターでは「刈取り前に天候不順でいもち病等心配されるが、異物混入や胴割米の発生に注意し、刈り取りの適期を逃さないようにし、乾燥調整に十分注意して、良質米の出荷を心がけてほしい」と話しました。

地域特産品「おやき」づくり学ぶ

JA大北女性農業大学7期生

当JA女性農業大学7期生は7月27日、大町市の当JA本所調理室で地域の特産品であるおやきの作り方を学ぶ講座を開きました。受講生17人が参加。大町市在住の遠藤悠紀さんを講師にあんこやなすを使ったおやきの作り方を学びました。この日は膨らまし粉を多めに使用したパンに近い生地と一般的なおやきの生地の2種類を作り、それぞれ具材を包みま

した。また、おいしいあんこの作り方も学び、適当な小豆のゆで時間など出来上がりの甘さを増すコツを習いました。参加した受講生は「家でもおやきは作るが、また違った生地の食感や味になった。参考になった」と話しました。



こめ油を使った料理・エコープ商品学ぶ はつらつ講座3回目



当JAは8月22日、23日の両日、当JA本所会館で中高年者を対象とした「はつらつ講座」の第3回目講座を開きました。大北管内から2日間で40人が参加しました。講座では築野食品工業株式会社栄養士の大塚尚子さんを講師に、体にやさしいヘルシーなこめ油を使った料理を学びました。「こめ油は臭いが少なく、さっぱりとした仕上がりになるのが特徴」と説明を受けた後、実際にとうもろこしご飯、夏野菜

の変わり天ぷらなど全4品を作りました。参加した受講生は「こめ油は初めて使ったが、揚げている時のにおいも少なく、仕上がりもさっぱりしている。家でも使ってみたい」と話しました。また午後には商品研修も行われ、厚生産業株式会社の横山佳匡さんと山印醸造株式会社の原謙さんからエコープ漬物の素を使ったおいしい漬物の作り方や味噌のおいしい食べ方を学びました。

夏休みこども村・中京の子どもたちが大北の夏を満喫



当JA恒例の「夏休みこども村」が7月26日から8月10日まで開かれ、中京方面の4JAから集まった小学生ら約200人が川遊びや魚つかみ、高原のトレッキングなど大北管内の自然を満喫しました。こ

のうちJA尾張中央からきた子どもたちは当JAのカントリーエレベーターや農産物直売所えっこの里、りんごモデル圃場を見学したほか、池田町会染でトウモロコシの収穫も体験しました。



えっこの里・夏イベントで盛況 産直カレーの日・真夏の感謝祭



当JA農産物直売所えっこの里は7月中旬から下旬にかけて夏のイベントを開きました。22日は「JAさん産直の日」としてナスやズッキーニなど夏野菜をふんだんに使ったヘルシーなカレーの振る舞いイベントを開いたほか、28日・29日は白馬の豚焼肉・地元とうもろこしの振る舞いを行い、夏休みに入った子ども連れの来客で賑わいました。22日、名古屋から訪れた若者グループは「暑いけれどカレーは最高に美味しかった」と話していました。



屋から訪れた若者グループは「暑いけれどカレーは最高に美味しかった」と話していました。



屋から訪れた若者グループは「暑いけれどカレーは最高に美味しかった」と話していました。

通信



簡単オシャレな ネックレス作り

女性部松川支部

女性部松川支部は8月23日、松川村の当JA松川支所で着物などのちりめんの生地を使ったネックレス作り講習会を行いました。

この日は部員7人が参加。長野市を中心に活動している人形作家の神庭幹子さんを講師に長さ調整のできるおしゃれなネックレスの作り方を学びました。細長い生地を縫い合わせ、柄の付いたプラスチックの玉を通し、結び合わせて完成する。完成後は身に着けてお互いに作品を見せ合いました。参加した部員は「キレイでとてもオシャレなネックレス。家でも作って家族などにプレゼントしたい」と話しました。



草木染で

自然な色合いを堪能

女性部神城支部

女性部神城支部は7月20日、飯森公民館で草木染め講習会を開きました。昨年、中土支部で実施した草木染めをみた部員からの要望により開催したものです。この日は部員21名が参加し、中土支部の太田有子支部長を講師に、紫米・ヨモギ・コンフリーの3種を使い煮出した汁に漬けて輪ゴムでとめて模様をつけたリオリジナルのストール染めに挑戦しました。参加した部員は「どんな色がでるか楽しみでした。家にあるものでもできるので身近にあるものでまたチャレンジしてみたい」と話していました。



女性部平支部が

旧生活店舗で

恒例の盆花直売

女性部平支部は8月12日、当JA平支所南の旧平生活店舗で、盆花市を行いました。旧店舗の有効活用を図ろうと実施しているもので、花卉栽培をしている部員が蓮の切り花やアスター、リンドウなど6種類の盆花の他、夏野菜を出荷し格安で販売しました。地域組合員や女性部員、帰省客、観光客らが立ち寄り「鮮度のいい花が多く、蓮の花などは他に無く珍しい」と買い求めていました。



女性部

美麻支部が インド藍染め講習会 簡単にきれいな藍色に

女性部美麻支部は8月3日、青貝ふれあいセンターで「インド藍液」を使った染物講習会を開きました。美麻地区在住の中島由子さんを講師に部員8人が参加。インド藍液はインド原産のマメ科の藍の葉を水中発酵、乾燥させて作るもので、比較的簡単に鮮やかに染まるのが特徴。参加した部員は絹のスカーフを使って模様ができるように糸や輪ゴムで縛り、藍液に漬けて染め、乾燥させる工程を学びました。参加した部員は「意外と簡単に綺麗に染まった。藍色は涼しげで他にも試してみたい」などと話していました。



女性部平支部が グループ活動 クラフトの会を立ち上げ

クラフトテープで物づくり

女性部平支部は6月27日、クラフトテープを使って様々な入れ物などを作る「クラフトの会」を立ち上げました。グループ活動の二環として支部員11人が参加。毎月1回、旧平生活店舗に集まり、テープを編みこんで作る籠やバックなどを学びます。7月27日と8月24日はハンドルバスケット作りを部員同士が教えあいながら作っていました。参加した部員は「手と頭を使い、会話しながら楽しくできる。クラフトテープを使ってこれから色々なものを作っていきたい」と話していました。



美麻支部が

「地域のつどい」開く

高齢者とふれあい活動促進

女性部美麻支部は、助け合いと地域のつながりを作る目的の「地域のつどい」を7月8日に青貝ふれあいセンターで、7月22日に二重市民農園でそれぞれ開きました。65才以上の地域組合員と組合員家族（女性部員、部員家族含む）を対象とした高齢者生活支援の集いで、両日とも15人が参加。当JAふれあい課職員による風船ゲームや歌体操のほか、当JA美麻支所職員による金融商品の情報提供や、早口言葉を使った「おくちの体操」、女性部員が作ったモチ米の「ちまき」などを囲んで茶話会で相互の交流を深めました。



水 稲

南部営農センター・社 千野 照久

良質米生産に向けて適期刈取りを守ってください

稲刈り後に行う水田の土づくり

1. 土壌改良剤の施用

JA大北水田用オリジナル土づくり肥料「ニュー大地いきいき」を10アール当たり100kg施用してください。

肥料の特長

- 1) この肥料は、良食味米の安定生産をねらって、管内水田土壌の種類、実態に合わせ関係技術者独自に開発した水田用土づくり肥料です。
- 2) この肥料は管内の水田土壌分析結果を反映させ、けい酸・苦土を高めにしています。
- 3) この肥料は、水稻の生産力を維持させるために、リン酸、石灰・けい酸・苦土のほか生育中期の根の保護を目的に鉄分もバランスよく含有されています。
- 4) この肥料に配合しているけい酸肥料は、生育初期から作付け全般にわたり、効率的なけい酸供給ができます。
- 5) この肥料にはく溶性苦土が7%含まれており、食味の向上が期待できます。
- 6) 配合されている原料は、いずれも粒状であり、機械散布に適しています。

施肥量と使い方

- 1) JAの施肥基準に準じて下さい。10アール当たり100kgが標準目安です。
- 2) 圃場の土壌診断に基づき、不足する養分は単肥で補ってください。施肥後は土壌とよく混合してください。
- 3) 施肥時期は、春施用、秋施用ともにしようできるように設計してあります。

2. 深起こし

秋起こしの時は、トラクターの速度を低速にして、普通型ロータリーの回転は低速で、ロータリーカバーを上げ、土を飛散させます。作土をできるだけ深くし、根が深く張れるようにします。(3～4年に一度は15cm程度まで深耕しましょう)

3. 有機物

稲わら、有機質肥料等の施用により、地力の増進をはかります。

◎赤米発生圃場について

赤米が発生した圃場については、他の圃場へ広げないためにも、刈取り前に圃場内を見回り抜き取りを実施して、刈取り作業は最後にするなど拡散防止に努めてください。

刈取り後は秋起こしはしない(冬期間の凍み等及び鳥類の捕食で密度を減らす)

来年度の作付け及び、ご不明な点等あれば、各地区担当技術員にご相談ください

◎長期予報(9月)

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

園芸

南部営農センター 平林 宏平

秋野菜の栽培管理について

秋～冬野菜の管理に重要な時期になります。播種・定植・間引き・施肥管理など改めて基本を徹底し、良質な生産につなげてください。土壌改良の為に苦土石灰や完熟たい肥は十分に入れてください。病害虫の防除は症状が出た後の処理ではなく、予防散布を基本としてロスの無い生産に励んでください。農薬はなるべく同じ剤の連用は避けて、数種類をローテーションで使うことが農薬を長く使うポイントです。農薬の種類は店舗や各営農指導員にお問い合わせください。また、JAや直売所などへ出荷をしていただいている方は特に、対象品目・濃度・収穫前日数を常に確認しながらの使用を厳守してください。

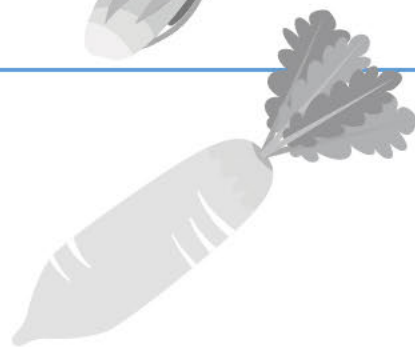
野沢菜

種蒔きは早過ぎると虫害に、遅過ぎると十分に育たない場合があります。2～3日おきに2～3回に分けて2cm程度の間隔を目安に播種してください。本葉1～2枚の頃と、本葉4～5枚の頃の2回程度、葉が触れ合わない幅に元気な株を残して間引きを行ってください。



大根

間引きが遅れると根部の肥大に悪影響がでやすいため、タイミングを逃さず行ってください。本葉2～3枚の頃と、7～8枚の頃、いびつな葉の出ている株を間引いてください。最終的には30cm程度の間隔が理想です。また、間引きの後には追肥をして太くて長い立派な大根を作りましょう。



ホウレンソウ

種蒔きは1cm程度の間隔で行ってください。多少込み合っている所は4～5cm程度間隔に元気な株を残して間引きを行ってください。20～25cm程度の草丈が収穫の目安です。



白菜

良好な結球をさせるため、しっかりと外葉を育てましょう。植穴に4～5粒程度を種蒔きしてください。本葉2～3枚の頃に1回目の間引きで2～3株にし、本葉7～8枚の頃に2回目の間引きをして1本立ちにします。2回目の間引き後、本葉10枚の頃、葉の中心から結球し始める頃が追肥のタイミングです。遅れると、結球不良や軟腐病などにつながる場合があります。





えくぼ ACB通信



らくらくweb簿記利用者研修会



7月28日に大町市総合情報センターにて、らくらくweb簿記の利用者研修会を行いました。らくらくweb簿記とは、インターネットを通じてご自分で記帳・決算・申告を行うことができるシステムです。

12名の方に参加していただき、今回は1、2年目の方を対象とした基礎的な研修となりました。次回は決算、申告についての研修会を予定しております。



JGAP指導員取得しました！

JGAP (Japan Good Agricultural Practice) とは、食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証のことです。

JGAP 認証を取得することによって農場の管理を改善することができ、さらに農場管理の良さをアピールすることで販売力のアップに繋がります。

JA大北では4人がJGAP 認証指導員を取得しました。今後の認証取得の支援をしていきたいと思っております。

JGAP Trainer

JGAP 指導員登録番号08846 内山 蓮



ACB無料職業紹介所

届出受理番号20-特-000062

●求人情報

稲刈り、出荷作業全般作業

- ・作業場所／松川村
- ・雇用期間／9月1日～9月30日位まで
- ・労働時間／8時30分～17時30分
- ・募集人員／2人
- ・賃金／時給800円～1,000円

りんご葉摘み作業(4尺以上の梯子を使用)

- ・作業場所／大町市内・松川村(4か所)
- ・雇用期間／9月から
- ・労働時間／8時～17時
- ・募集人員／6人
- ・賃金／時給800円～

りんご葉摘み作業(4尺以上の梯子を使用)

- ・作業場所／大町市内・松川村(6か所)
- ・雇用期間／10月から
- ・労働時間／8時～17時
- ・募集人員／5人
- ・賃金／時給800円

当農家対策支援室が行う、無料職業紹介所では、随時、求人・求職者を募集しています。職種は農業です。

短時間でも、期間限定でも、農業をやってみたいと思われる方、手が不足している方、ご連絡ください。

●求人情報の詳細、お問い合わせは

大北農業協同組合無料職業紹介所
農家対策支援室(営農部)

0261-22-1842



牡牛座

4/20～5/20

全体運／神経質になりやすい月。重箱の隅をつつくような発想はやめて、どっしり構えましょう。クラシック音楽につき
健康運／安定期です。スポーツを始めるのと刺激大
幸運を呼ぶ食べ物／エノキタケ



牡羊座

3/21～4/19

全体運／それなりに勢いはあるものの、小さな失敗で落ち込みやすいよう。開き直りの気持ちも大切。まめに気分転換を
健康運／食べ過ぎに注意。胃腸のケアを忘れずに
幸運を呼ぶ食べ物／サトイモ



JA直売所だより

日頃はJA大北農産物直売所をご利用・出荷いただき、誠にありがとうございます。
県外客が増えて、直売所の野菜・果物の安さ、新鮮さにたいへん喜ばれているようです。
ただ、出荷規格を決めてある為、スーパーマーケットのようにお客様のご希望に合った包装や、1個だけ欲しいなどの要望に応じられないところがあります。可能な限りお客様のご希望に添えられるよう細やかなサービスに努めて行きたいと思ひます。

- 8月の状況：月初めの台風5号による被害が心配されましたが、影響はほとんどなかったようです。とうもろこしと、お盆ということもあり切花の売上が上位を占めました。夏野菜のきゅうり・トマト・ナスが最盛期で、果物では桃・ブルーベリーが人気でした。県外客に人気のブルーベリーは7月が最盛期となったため、8月の出荷が減ってしまいました。

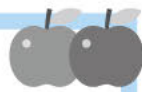
松川村 アルプス一番・社直売

○あづみ病院前直売所10月まで
出店
(毎週火曜日・金曜日10:30~13:00)



大町市常盤 ええっこの里

○週末セール9月8日(金)~9日(土)、9月15日(金)~16日(土)
9月22日(金)~23日(土)、10月6日(金)~7日(土)
○大北園芸振興協議会うまいくだもの推進部会による、
りんご販売10月14日(土)~15日(日)



(セールの日程は変更する場合があります)

- これからの出荷最盛になる品目：きゃべつ、大根、ねぎ、なす、りんご、ぶどう、きのこと類など。

直売所イベントカレンダー

9月上旬から10月上旬までの予定です						9月9日(土)
						ええっこの里 週末セール
9月10日(日)	9月11日(月)	9月12日(火)	9月13日(水)	9月14日(木)	9月15日(金)	9月16日(土)
		あづみ病院前 直売所			ええっこの里週末セール あづみ病院前直売所	ええっこの里 週末セール
9月17日(日)	9月18日(月)	9月19日(火)	9月20日(水)	9月21日(木)	9月22日(金)	9月23日(土)
		あづみ病院前 直売所			ええっこの里週末セール あづみ病院前直売所	ええっこの里 週末セール
9月24日(日)	9月25日(月)	9月26日(火)	9月27日(水)	9月28日(木)	9月29日(金)	9月30日(土)
		あづみ病院前 直売所			あづみ病院前 直売所	
10月1日(日)	10月2日(月)	10月3日(火)	10月4日(水)	10月5日(木)	10月6日(金)	10月7日(土)
		あづみ病院前 直売所			ええっこの里週末セール あづみ病院前直売所	ええっこの里 週末セール
10月8日(日)	10月9日(月)	10月10日(火)	10月11日(水)	10月12日(木)	10月13日(金)	10月14日(土)
		あづみ病院前 直売所			あづみ病院前 直売所	ええっこの里・ うまくだ推進部会 りんご販売(15日まで)

全店よりお知らせ

新規出荷者随時募集中です!

詳しくは各店へお問い合わせください。



蟹座

6/22~7/22

全体運 / 何かと感情的になりやすい時期。特に身近な人とつ
まらぬ口論をしがちなので、悪いと思ったら、すぐ
謝って
健康運 / まずは、話題の健康法を試すとグッド
幸運を呼ぶ食べ物 / サンマ



双子座

5/21~6/21

全体運 / イベントや祭りなど、にぎやかな行事を満喫するの
に最適です。文化祭やコンサートにも気軽に足を運
ぶと幸運が
健康運 / ストレス発散が大事。体調に好変化あり
幸運を呼ぶ食べ物 / 栗

ローン・年金相談会

年金のご相談には基礎年金番号、年金手帳(配偶者のものも)、印鑑をご持参ください。

※随時、年金相談を受け付けております。詳しくは、各支所金融共済課までお問合せ下さい。

毎月第2・第4日曜日は、休日ローン・年金相談会の日です!!

日程 (時間:すべて9時～16時)	年金相談 (開催場所)	ローン相談 (本所アブロード1階になります)
9月10日(日)	○(アブロード1階)	○
9月24日(日)	○(アブロード1階)	○
10月8日(日)	○(アブロード1階)	○
10月12日(木)	○(会染支所)	—
10月22日(日)	○(アブロード1階)	○

JAマイカーローン 軽減後金利

年**0.975%**
変動金利保証料別途

利率・保証料

変動金利型 年**1.475%** 軽減後 年**0.975%**

保証料は別途 年**0.5%～1.6%** (審査のうえ決定させていただきます。)

- 上記金利は平成29年9月1日現在の金利です。金利情勢等により変更になる場合があります。
- 軽減金利適用条件につきましては、ローン相談センター、各支所融資窓口までお気軽にご相談下さい。

「JAとの取引はこれから」という方、農業者以外の方もお気軽にご相談ください。

JA大北 ローン相談センター

☎**0261-29-7121** JA大北本所アブロード会館内

平日■午前9:00～午後5:00(3階相談室) 毎月第2・第4日曜日■午前9時～午後4時(1階相談室) 担当/小林・堀・宮木



～ JA葬祭大町 葬儀事前相談の御案内 ～

最近の葬儀事前相談の傾向として

「子どもに迷惑をかけたくない」

「元気なうちに親の意向を聞いておきたい」 など

送る側と送られる側、それぞれの立場から、生前に相談をされる方が増えております。

葬儀には、ひとつひとつ、一人一人、同じものはございません。

故人様、残されたご遺族様にも悔いのない葬儀を、JA葬祭大町スタッフ一同は提案してまいります。

JA葬祭大町は、葬祭ディレクターを中心とした経験豊富なスタッフが随時事前相談を受け付けております。

また、ホールおおまち、ホールまつかわ両ホールにて館内見学・料理試食(5名様より)を随時行っております。

まずは、お電話にてご相談下さい。

※ご予約後のご来館をお願い申し上げます。



JAホールおおまち

〒398-0001 大町市平7791-6
TEL.0261(26)3300 FAX.0261(26)3301

〈中澤館長からの“PR”コーナー〉



～北アルプスの自然に囲まれた、
やすらぎの場所～

ご葬儀だけでなく、ご法事など
ご家族のなつかしい顔が揃うくつろぎの時を、
真心とサービスで演出します。

事前相談のご予約を随時受付中です。

JAホールまつかわ

〒399-8501 北安曇郡松川村7051-12
TEL.0261(62)1700 FAX.0261(62)1701

〈樋口館長からの“PR”コーナー〉



人形供養&ペット供養祭～開催～

- 場所:JAホールまつかわ ●受付:午前9時より午前11時
- 日時:平成29年10月14日(土) ●法要:午前11時10分～

※大切にされていた人形を丁寧に供養します。(陶器製人形・ガラスケースなどはご遠慮下さい)※お亡くなりになった、ペットの写真、お骨をお持ちください。(ご供養後にお返しいたします)

同時開催

ご葬儀・ご法事なんでも相談コーナー
“いざでばん”定期積金受付コーナー



乙女座

8/23～9/22

全体運 / やるべき作業を真先に済ませたら、後は自分の時間を楽しんで。新しい趣味を持つとうれしい発見がありそう
健康運 / 疲労が蓄積気味。適度に解消しましょう
幸運を呼ぶ食べ物 / カツオ



獅子座

7/23～8/22

全体運 / 性格の良い面がアピールされ、円満な人間関係が築けそう。初対面の相手にも気さくに話し掛けて。旅行も吉
健康運 / 運動不足になりがち。しっかり動くこと
幸運を呼ぶ食べ物 / 小豆

JA共済

アンパンマンと
歌って、踊って
交通ルールを
学ぼう!

©やなせ・F・T・N

※お子さまの記念撮影以外でのカメラやビデオの撮影はご遠慮願います。※個人によるトラブルや事故については、主催者は責任を負いかねます。※交通事情等により中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

日時 平成29年10月8日(日)
1回目 10:30～ 2回目 13:30～

場所 安曇野スイス村サンモリッツ
大ホール
長野県安曇野市豊科南穂高3800-1

主 催: JAあづみ・JA大北

問 合 せ: 電話0263-73-7777 (JAあづみ 金融共済事業部)
電話0261-22-1815 (JA大北 共済部)

観覧無料 ※観覧は先着順となります。来場者多数の場合は、入場を制限させていただきます事もありますので、あらかじめご了承ください。
☆内容等に関しましては、変更となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

JA共済
アンパンマン
交通安全キャラバン

知って納得JA

— 協同組合の力 —

Q JAがさまざまな事業を行うのはなぜ?

A 農家が安心して農業に専念できるよう、暮らしの基盤を支えるためです。

日本の農業の大部分は、家族経営で支えられています。農家は、所有する土地や農機具、家族の労働力などを使って農作物を作り、販売して現金収入を得ます。これらの収入の一部を家計に回して生活必需品を購入するほか、貯蓄したり共済に加入したりしています。

JAは、組合員である農家が安心して農業に専念し、農業所得を上げて豊かな暮らしを実現できるよう、さまざまな事業を通じて応援しています。これらの事業は組合員以外も利用ができ、地域住民の暮らしを支えています。

このように、JAは組合員や地域住民を総合的に支えることから「総合農協」とも呼ばれます。家族経営を大切にする日本らしい組織といえます。

(監修＝広島大学 助教 小林元)

組合員とJAの関わり

教育・広報活動に関わる事業

学習会の開催、広報誌の発行、新聞情報事業、出版・文化事業など

指導事業

技術や経営の指導、サポート、くらしの活動など

信用事業

将来に備えての貯蓄、融資

生産資材、生活資材の供給

購買事業

選果場等の施設利用、農畜産物の加工、農畜産物の集出荷

利用・加工事業 販売事業

農畜産物の販売

組合員



共済事業

万一に備えての保障

医療・福祉事業、健康増進活動、旅行事業など

その他生活に関わる事業

市場・消費者

耕そう、大地と地域の未来。



蟹 座

10/24～11/22

全体運 / 縁の下で力持ちながら役割を任されることが多い時期。とはいえ、サービス精神を発揮すれば確実に信頼アップへ

健康運 / ストレッチや体操が好調キープの秘訣(ひけつ)に幸運を呼ぶ食べ物 / ごま



天 秤 座

9/23～10/23

全体運 / 自己アピールに最適です。温めていたプランがあるなら、オープンにすると◎。素晴らしい協力者が現れる予感

健康運 / 不規則な生活の改善を。好転の呼び水に幸運を呼ぶ食べ物 / サツマイモ

食中毒

北アルプス医療センターあづみ病院

消化器内科部長 木全 博己

疫学

食中毒とは、摂食等によって有害物質が体内に入ることにより引き起こされる疾病です。原因としては細菌やウイルスなどの病原微生物が最も多いですが、薬などの化学物質や自然毒などでもおこります。一般的には、同じ食品を食べた人が複数で集団発生した時に食中毒と言います。ノロウイルスなどでは食事に発症する時と、風邪症候群のように接触・飛沫感染する時もあり、この時は感染性胃腸炎と言っています。食中毒の原因菌としては、少し前まではサルモネラやビブリオが多かったのですが、最近ではノロウイルスとカンピロバクターが増えてきています。ただし、届け出のない食中毒が非常に多くあり、実際には数百万人が罹患していると推測されています。

症状

食中毒の症状は、腹痛、下痢、悪心・嘔吐、発熱が主であり、下痢の頻

度が高いです。時には、下血、粘血便、しづり腹を来すこともあり、原因菌や炎症の主だった部位（小腸型、大腸型）や重症度により異なってきます。ほとんどは急性胃腸炎症状ですが重症化してくると循環器症候や、呼吸器症状、意識障害等の全身症候がみられるようになってきます。

診断

診断に際しては問診が非常に重要です。いつ、どこで、何を、どのように食したのか、また二人だけなのか多人数か、周囲の人の症状はないかなど。潜伏期の長い菌種もあり少し前にさかのぼって具体的に聞くことが重要です。問診と症状、および臨床所見で診断の見当は付きますが、血液検査、便中抗原の測定、下部消化管内視鏡、腹部CT等の検査を用いることでより確かな診断を確定できます。

治療

軽い病態では自然治癒傾向が強く、補液と症状の緩和で対処し、腸管内容の排泄を計ります。下痢止めは使用しません。中々重症の場合には全身管理と共に抗菌剤投与をしますが、菌により薬剤感受性が異なりますので、投与前に便培養を施行し原因菌のわかった時点で変更または中止します。

関連話題

教科書的なお堅い話はこれくらいにしておいて。食あたりの多い季節になってきました。どうすれば食中毒をふせげるのか？

手洗いを、しっかりとって怪しいものには手（口）を出さない。冷蔵庫に入れてから、などといった油断

は禁物です。子供さん、高齢者、基礎疾患のある人等々、免疫力の弱い人は特に周りの人達の見守りが大事です。そういう大人も油断大敵！ 暑さ故の睡眠不足、食欲

不振、過労による体力の低下等は禁物です。日々の生活を大切にして自分の体を守り、健康的な生活を送りましょう。また、食中毒の発症を疑う時は周りにうつさない注意も大切です。

先日、都会の公園でカラスが大量に死んでいるのが発見されました。専門家が死因を調べるとなんとウェルシュ菌による中毒死の疑い。ウェルシュ菌は人にも中毒症状を起こし時には重症化を引き起こしかねない毒性をもっています。

どこから来たウェルシュ菌か追跡調査がおこなわれましたが、なんと人が捨てた残飯のお肉に大量増殖、それをつまんだカラスが全滅したのではないかとの事。ごみの管理も大切です。

自分の身体は自分で守り、この時期を元気で乗り切りましょう。



山羊座
12/22~1/19

全体運／責任ある立場を任されるなど、重圧を感じやすいかも。肩の力を抜いた方が好結果に。気晴らしには散歩が有効
健康運／体力増強を目指して。健康に近づけよう
幸運を呼ぶ食べ物／ボラ



射手座
11/23~12/21

全体運／知的好奇心を刺激され、いろいろとやってみたくはなるはず。カルチャーセンターなどに足を運んでみるのが正解
健康運／不安定。運動前には念入りに準備運動を
幸運を呼ぶ食べ物／ユズ

アルプスあづみの公園【大町・松川地区】通信

【あづみの公園からお知らせ】

アルプスあづみの公園（大町・松川地区）では、「秋晴の溪フィッシングガーデン」が開催中！目玉は、乳川で楽しむ本格溪流釣り。その他、アウトドア・アクティビティや、室内で楽しめるワークショップなどイベント盛りだくさん。さらに、9月30日・10月1日は入園無料日で「北アルプスフェア」を開催します。詳しくは公園ホームページをご確認ください。



フィッシングガーデン

北アルプスの溪流で本格釣り体験。道具はすべてレンタルで手ぶらで溪流釣りをお楽しみいただけます。釣ったニジマスはその場で塩焼きに！

■期 間／9月2日（土）～24日（日）の土日祝日 9日間 ※増水時中止

■時 間／10:00～15:00

■場 所／溪流ピクニック広場（休憩所付近）

■参加費／2,500円

（入漁証、釣り竿・バケツレンタル、餌、持帰り袋代を含む）

焼き代 釣った魚100円／匹、魚追加300円／匹

※利用者多数の場合、入場を制限させていただきます。



フラワーペンダント

お花を樹脂（レジン）でコーティング。デコレーションして、キラキラかわいいペンダントをつくります。

■開催日／9月9日（土）・10日（日）

■時 間／①10:00～、②11:00～、③13:00～、④14:00～

■場 所／レンタル棟

■定 員／事前申込 各回先着5名

■申 込／インターネットもしくは電話での受付

■参加費／500円



ボルダリング体験

スポーツクライミングが東京オリンピックの正式種目となり、注目を集める「ボルダリング」。インストラクター付で、気軽にボルダリングを体験できます。目指せ、オリンピック！

■期 間／9月23日（土）・24日（日）

■時 間／10:00～16:00 ■場 所／アルプス広場

■対 象／小学生以上

【予告】秋の入園無料日！

北アルプスフェア開催

今年の目玉は、信州の郷土食「おやき」が大集合する「信州おやきサミット」。県内有名店のおやきを食べ比べできるほか、「創作おやきコンテスト」の最優秀賞も決定します！

9月30日は「フォーリンラブ」によるお笑いライブも開催。その他、特産品の販売や、フリーマーケット、振舞などイベント盛りだくさん！

■開催日／9月30日（土）・10月1日（日）※入園無料日



お問い合わせ、受付時間など、詳細はアルプスあづみの公園大町・松川地区管理センターへお問い合わせください。

TEL:0261-21-1212

※詳細は公園ホームページでもご確認ください。

公園ホームページ <http://www.azumino-koen.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/azumino.OM>

Twitter https://twitter.com/azumino_om

LINE @azumino.park



魚 座

2/19～3/20

全体運／やたらと不安になり、心配しやすいでしょう。マイナス方向に考えず、いい面を探すこと。開運には花を飾って

健康運／健康法に凝り過ぎる暗示。ほどほどがベスト
幸運を呼ぶ食べ物／リンゴ



水瓶座

1/20～2/18

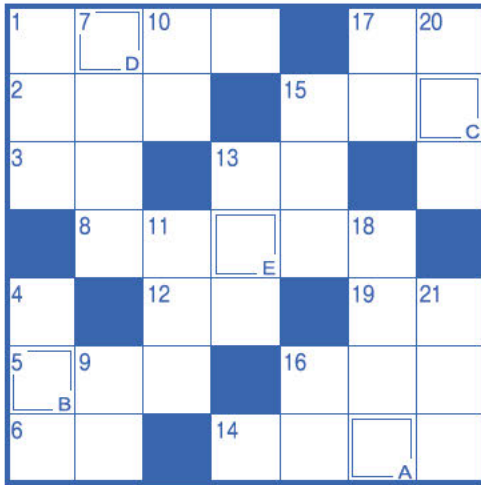
全体運／とても前向きになれる。攻めの姿勢をモットーに思う通り行動することで、順調に物事が進展するでしょう

健康運／日々、身軽に動けば体調改善に効果あり
幸運を呼ぶ食べ物／シメジ



頭の体操 クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



●タテのカギ

- 1 くるくるとカールした髪
- 4 ふすまや障子はこの上を動きます
- 7 電車の中にぶら下げられています
- 9 くらを置いて乗ります
- 10 自分の娘の夫のこと
- 11 ーに無勢だ、勝てないなあ
- 13 せき止めに良いといわれる
バラ科の果物
- 15 車を止めてーブレーキを引いた
- 16 スズシロはダイコン、スズナは
- 17 黄色い貴金属。元素記号はAu
- 18 競技などを途中で棄権すること
- 20 眠るときに着る物
- 21 猫にー＝豚に真珠

●ヨコのカギ

- 1 唱歌『虫のこえ』で最初に出てくる虫
- 2 江戸ーはガラスをカットして作られる工芸品です
- 3 よく内科と対比されます
- 5 マタタビ科の果物。鳥の名にちなんで名付けられました
- 6 リビングともいいます
- 8 季節によって住む場所を変える鳥
- 12 箸を数えるときに使う言葉
- 13 舟をこぐ道具
- 14 こしあんとー、どちらがお好き？
- 15 秋においしい魚の代表格
- 16 牛などに食べさせる牧草のこと
- 17 白とー一緒に動きます
- 19 吸盤がたくさんある海の生き物

応募方法

- ① クロスワードクイズの答え
- ② JA 広報に対するご意見、日頃印象に残ったできごと（「みんなの声」コーナーで紹介する場合があります。）
- ③ 住所氏名・年齢・電話番号
以上を明記のうえ、左記の宛先までお送り下さい。

毎月、正解者の中から抽選で5名の方に賞品をプレゼントいたします。当選者の発表につきましては、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

ご応募に際して取得した個人情報、賞品発送以外には使用いたしません。

締め切り／9月29日必着

メール・FAXでも受け付けています。

〒398-0002 大町市 大町
字光明寺三〇九一

62

JA大北広報係行

●8月の答え

ブドウガリ

1 ナ	6 ガ	8 ツ	キ	15 ジ	19 キ
2 イ	カ	リ	13 モ	ヨ	リ
ル	9 ザ	10 コ	17 ウ	ン	
7 ホ	オ	ブ	14 ク	ロ	
3 ソ	ラ	11 シ	ツ	20 ズ	
4 ウ	ガ	イ	15 シ	18 カ	イ
5 コ	イ	12 ブ	ン	16 ド	キ



みんなの声

読者のコーナーです。
写真やイラスト・絵手紙・俳句や川柳も大募集!!

●暑い日が続いて体の置き場に困るくらいだ。夏野菜が毎日収穫出来てうれしい。いろいろ調理が出来ておいしく食べられることに満足だ。トウモロコシがハクビシやカラスに荒らされてしまっている残念だ。

池田町 70歳代 女性
●編集より「スイカやトマト、トウモロコシ、キュウリなど夏はおいしい野菜がたくさん採れますね。夏野菜は水分をたくさん含んでいるものが多いのでいい水分補給になります。」

●編集より「猿に負けずに頑張ります」と言う声からとても元気な姿が浮かんできます。折角の赤いトマトなので、もし被害が続くようであれば行政などに相談してみてください。

●お盆で孫たちが来てにぎやかです。おいた頭をフル回転させて食事のメニューを考えています。なんといつても量も沢山大変です。大変といえば洗濯物もでも久しぶりの若者たちの声に私も少し若がえった気分です。

松川村 70歳代 女性
●編集より「お盆で多くの方が帰省をされたと思います。お孫さんたちと会うたびに感じるのが「大きくなったな」と思います。成長を見届けていくのもひとつの楽しみでありますね。」

●梅雨が明けてからは雨が降り、日本各地で大雨災害が起きています。収穫の秋を前にしてとても心配です。

松川村 60歳代 男性
●編集より「今年は雨がよく降りますね。野菜の被害も心配ですが災害が起らないかが一番心配です。何も起こらずに収穫を迎えられるよう祈るばかりです。」

●毎朝トマトや胡瓜の生育と採るのが私の生甲斐です。何本、何個はすぐ忘れてしま



今月の表紙

撮影データ

- 撮影日／2015年9月12日
- カメラ／Nikon D750
- レンズ／28-300mm f3.5-5.6



白馬村 藤平から北アルプスを望む

9月中旬、色付き始めた稲穂。群青の空に白馬三山が映える。これから秋本番を迎える季節。

PHOTO:松沢伸一

〒398-0002
大町市大町字光明寺3091-1
JA大北 広報担当 迄

FAX.0261-23-4831

メールアドレス
kouhou@dhk.nn-ja.or.jp



りんご娘

宮川 紗恵さん (22) 池田町会染



～子どもたちの個性を伸ばせる保育士に～

●仕事は

池田町保育園で保育士をしています。幼いころから憧れの先生がいたことが保育士になったきっかけです。日々の園生活で、小さな積み重ねが子どもたちの成長につながっています。それを見られる事がうれしいです。

●農・食に対する思い・イメージは

都会など食材の基を知らない子どもたちが多い中、ここでは身近に田んぼや畑があって食材が見られるいい環境だと思います。子どもたちは活発なので、自分自身も体力が必要です。必然とお肉やお米などエネルギーを摂るようになりました。

●休日・趣味は

小説などの読書や、お祭りに見に行くなどで心身をリフレッシュしています。

●理想の男性はどんな人ですか

子どもにも優しい人、頼れる人がいいですね。

●これからの夢・目標は…

子どもたち一人ひとりの個性を伸ばしてあげられる、子どもの気持ちを分ってあげられるような保育士になりたいです。

信鮮!信旬!キャンペーン

実施中

「2017信鮮!信旬!キャンペーン」とは、「地産地消は正しい」「地産地消はおいしい(うれしい)」ことを体験し、地元農畜産物の魅力を再発見するキャンペーンです。県内JA農産物直売所などでは試食イベントを開催しています。

信じられる新鮮さだから信鮮! 信じられる旬だから信旬!

信州で作られ育ったおいしさは、信州で食べると、ますますおいしい。地産地消って、うれしいです。

イベント情報は各直売所にお問い合わせください。

理事会

8月25日開催

報告事項

専門委員会報告、7月末事業実績、7月末組合員新規加入状況について、夏季賞与の支給について、平成29年度下期支所総代会日程について、第70回JA長野県大会議案に係る意見集約について、マイカーローン・教育ローン特別金利キャンペーンの実施について、貸出金利の改定について、平成29年度産米集荷方針について、水稲秋作業(収穫・乾燥・耕起)燃料担い手支援要領について、農林水産省による認定農業者等に対する農協改革に関するアンケート調査の結果について、主な会議行事について、その他

付議事項

- (1) 平成29年度下半期経営対策について
 - (2) 職制規程職務権限表の一部変更(案)について
 - (3) 出資金について
 - (4) 第30回組合員代表者集会開催(案)について
 - (5) 監事監査(第1・四半期決算)措置回答書について
 - (6) 固定資産取得について
 - (7) 平成30年度春肥予約注文の価格対策(案)について
 - (8) 平成29年度産米概算金の設定(案)について
 - (9) JA大北小型農機具レンタル事業(案)について
 - (10) 貸出先について
 - (11) 理事への貸付について
- その他事項

ざんせつ

夏の風物詩そうめんと冷麦の違い。唐突に聞かれるとすぐには答えがでないですね。似ているけど実際調べてみると違いがあるものが結構あります。もし身近で似ているものがあつたら、調べてみると面白いかもしれません。

田中

毎日の暮らしに必要な食料品や日用品などをご自宅までお届けする宅配サービスです。

JAまごころ宅配 暮らしの応援レ・シ・ピ



旬の食材やエコープマーク品を使ったお料理の提案です。



かつおのねぎダレ



一口メモ

かつおは初夏に水揚げされる初かつおと秋の戻りかつおと年に2回旬があります。初かつおは脂っぽさが少なく、さっぱりとした味わいです。一方、戻りかつおは餌をたっぷり食べ、脂肪を蓄えていますので脂のりが良いのが特徴です。かつおに含まれるEPAやDHAといった脂質は血液や血管の老化予防に効果があります。

●作り方

- ① にんにくはすりおろし、長ねぎは小口切り(太ければ粗みじん)にし、Aと混ぜておきます。
- ② 白ごまはフライパンで軽き煎り、粗みじんにします。
- ③ かつおたたきはお好みの大きさに切り、皿に盛ります。
- ④ ③に①と②をかけます。

●材料(2人分)

炭火焼かつおたたき … 150g	にんにく … 1片
A ボン酢 … 1/2カップ	長ねぎ … 1/4本程度
ごま油 … 小さじ2	白ごま … 小さじ2

さんまの肝醬油焼き



一口メモ

さんまは必須アミノ酸を多く含んでおり、魚の中ではトップクラスです。必須アミノ酸は人間の体を作る上で必要不可欠な栄養素で、食べ物からしか摂ることができません。また、さんまはDHAやEPAといった良質な脂質が多く、血液や血管の老化予防に効果があります。

●作り方

- ① さんまは頭と尾を取り除き、肝を取り出します。
- ② 取り出した肝を包丁で細かく叩き、Aと混ぜ合わせます。
- ③ ①のさんまは水洗いし、3等分に切り、②に1時間程度漬けます。
- ④ ③の水気を拭き取り、グリルなどで焦がさないように焼きます。

※大根おろしやすだちを添えてお召上がりください。

●材料(2人分)

生さんま … 2尾
A しょうゆ … 大さじ2
みりん … 大さじ1
酒 … 大さじ2
白ごま … 少々

安全 安心 便利 「ご紹介キャンペーン」実施中

◎安全・安心:県内産・国産品を優先的に使用し、添加物にも配慮しています。
◎便利:週2回ご自宅へ。注文しらすの「おまかせコース」・カタログから注文「選べるコース」

JA大北 食材センター
TEL・FAX:0261-23-0811

JA葬祭 24時間受付

安心して、全てをおまかせ下さい。

TEL.0261-26-3300

◎搬送・通夜、法事にいたるまで対応いたします。◎個人葬から社葬まで、ご予算に応じて対応いたします。
◎寺院・公民館の葬儀の料理から後片づけまで、JAの葬祭担当がお手伝いいたします。◎小規模葬(30人まで)対応いたします。

■式場 ■棚上げ会場 ■親族・寺社控室 ■通夜室 ■霊安室 ■70台収容駐車場 ■霊柩車・送迎用マイクロバス ※自宅・公民館・寺社等での出張葬も承ります。

JA大北 〒398-0001 大町市平7791-6 FAX.0261-26-3301

JA大北 〒399-8501 北安曇郡松川村7051-12 FAX.0261-62-1701

JAホールおおまち TEL.0261-23-7176

JAホールまつかわ TEL.0261-62-1700

ご利用の際は、上記の電話番号をご確認の上おかけ間違いのないようにご注意ください。